

2023年1月26日
社会福祉法人 博友会

新型コロナウイルス感染者発生について（第1報）

地域密着型介護老人福祉施設 大宮フロイデドルフにおいて、ショートステイの利用者様1名が施設内の抗原検査の結果、1月17日「陽性」と確認されました。ショートステイ受け入れの際に抗原検査を実施し陰性を確認。その後、退所日に症状見られ、抗原検査で「陽性」となっております。

その後、18日～25日までのPCR検査・随時抗原検査にて職員3名、ご利用者様8名の陽性を確認しております。陽性となった職員は自宅待機、ご利用者様に置かれましては、適切なゾーニング対応と個室管理及び医療機関との連携対応をおこなっております。

大宮フロイデドルフでは、当方のマニュアルに沿い対応策を実施しており、職員に関しましては、出勤前抗原検査を適宜実施し対応を行って参ります。

なお、短期入所事業に関しましては、感染状況を鑑みて規定の経過期間及び段階的なPCR検査の結果で終息が確認できるまでの間、受け入れを休止致します。

感染者が確認されたことを受け、速やかに通常の消毒以外に徹底的に消毒作業を実施すると共に、標準感染予防策(スタンダード・プリコーション)に基づくケアの提供、利用者様、職員の体調確認の徹底・継続等の感染拡大防止策を継続して実施しております。

今後とも引き続き、保健所・自治体等の関係機関と連携を図り、感染拡大の防止に努めるとともに、必要な措置を適切に講じてまいります。

ご利用者様ならびにご家族様にはご不便ご迷惑をおかけしますこと、誠に申し訳ございません。

何卒、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以 上